

平成15年12月 検定試験

〔No.26〕 車両安定制御装置に関する説明として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

- (1) 濡れたアスファルト路面や冰雪路などの滑りやすい路面で急ブレーキを掛けたとき、前輪がロックすれば操舵ができなくなり、また、後輪がロックすればスピンを起こし危険な状態になる。ABSは、このような状況でも車輪がロックし難くなるように制御する。
- (2) トラクション・コントロールは、駆動輪のブレーキ制御及びフューエル・カットなどによるエンジン出力制御によって、駆動輪のスリップを抑えるものである。
- (3) ABS 及びトラクション・コントロールは、主に制動時及び加速時の安定性を確保するものであり、VSCS は、ABS 及びトラクション・コントロール機能に加え、車両旋回時の安定性制御も行う総合システムである。
- (4) VSCS は、車速センサ、ヨー・レート・センサ、G センサと舵角センサ等を備え車両の旋回状態を把握しているため、指定以外のタイヤサイズの装着など 4 輪のタイヤ径が異なるような条件下でも、正常に作動する。